

家族や仲間の 支えと共に

当日、操法会場では、選手たちが、これまでの努力の成果を出すため、支えてくれた仲間の団員や家族の期待に応えるため、数分間の競技時間を精一杯競技しました。

終了後は、仲間の団員の皆さんや家族から選手に惜しめない拍手が送られていました。



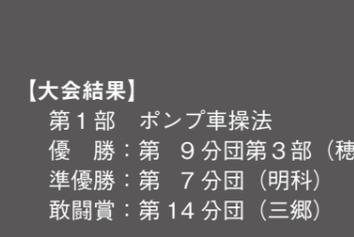
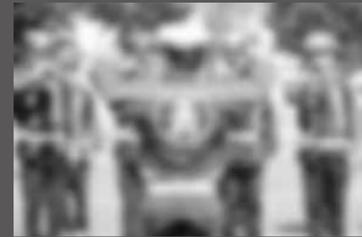
市消防団 ポンプ操法大会

地域防災を支える市消防団。毎年6月に開かれるポンプ操法大会は、日ごろの訓練の成果を披露し、その成果を競う一大行事です。6月15日に開かれた市ポンプ操法大会の様子をカメラで追いました。

競技を終えて

閉会式では入賞チームが表彰され、音楽喇叭隊の表彰曲で栄誉をたたえます。閉会式後、会場に掲示された競技結果を携帯電話のカメラで写真に収める選手の皆さんの姿もありました。

各部門の優勝・準優勝チームが市代表チームとして松本消防協会大会の出場権を獲得しました。



【大会結果】

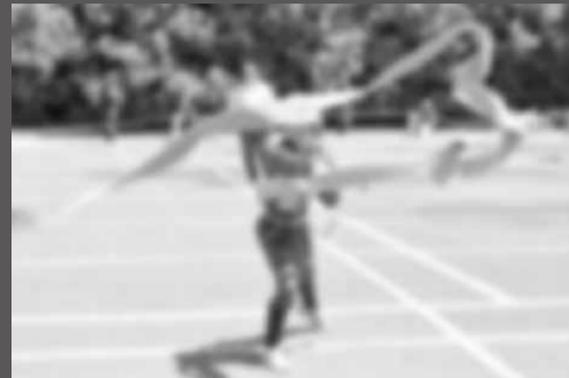
第1部 ポンプ車操法
優勝：第9分団第3部（穂高）
準優勝：第7分団（明科）
敢闘賞：第14分団（三郷）

第2部 小型ポンプ操法
優勝：第4分団（豊科）
準優勝：第12分団第2部（穂高）
敢闘賞：第3分団（豊科）

真剣勝負！

ポンプ操法大会では、指揮者の合図で消火活動に必要なホース延長、放水などの消火訓練を行います。声の大きさ、操法の正確さ、時間などが審査され、その点数で順位が付けられます。

年齢も職業も違う仲間が、この日のために、数カ月間、早朝、夜間に練習を重ね、全力を尽くします。



News

第4分団が県大会へ



優勝した第4分団の選手の皆さん

松本消防協会主催のポンプ操法・ラッパ吹奏大会が7月6日、塩尻市で行われました。市からは市大会を勝ち抜いた4チームと音楽喇叭隊が出場。結果、小型ポンプ操法の部では豊科南穂高を管轄する第4分団が優勝しました。第4分団は7月27日、大町市で開催される県大会に松本消防協会代表として出場します。

第4分団では、県大会出場を目標に練習を重ねてきました。選手で指揮者の等々力昭浩さん（豊科南穂高）は「家族や仲間の支えがあり、大会で優勝することができました。県大会での優勝を目指し頑張りたい」と話してくれました。